

提出日:2022 年 5 月 10 日

2021 年度 Bio-SPM 技術共同研究事業

## 研究成果の概要

実験課題名		タウおよび $\alpha$ シヌクレイン凝集系の確立と生体試料が凝集系に及ぼす影響の検討	
申請者 (実験責任者)	氏名	小野 賢二郎	
	所属機関名・部局名	医薬保健研究域医学系	
	職名	教授	
利用した Bio-SPM 技術 (該当の技術の右欄に○)			超解像 AFM(FM-AFM 及び、3D-AFM)
		○	高速 AFM
			SICM
NanoLSI 受入担当教員名		中山 隆宏	
NanoLSI の中山隆宏博士と金沢大学脳神経内科の共同実験者との研究チームを立ち上げ、タウおよび $\alpha$ シヌクレインペプチド合成・精製の系をセットアップした。また、AFM を用いて精製されたタウの凝集体を観察した。			

※本様式 3 は、“事業成果報告”として、ホームページにて公開させていただく予定です。

※必ず A4 用紙 1 枚におさめて下さい。 ※提出期限:2022 年 5 月 6 日(金) ※提出の際は PDF 変換して下さい。

※提出先:金沢大学 WPI-NanoLSI Bio-SPM 技術共同研究事業担当係 E-mail: [Bio-spmscr\\_nano@ml.kanazawa-u.ac.jp](mailto:Bio-spmscr_nano@ml.kanazawa-u.ac.jp)